



WE21ジャパン・グループ
2017年度 年次報告書

認定NPO法人 WE21ジャパン



環境・貧困・人権

「世界とのつながり」を考え・行動する人を地域にひろげる

世界で起きている資源の奪い合い、環境破壊、貧困、人権の問題は、

資源を大量生産・消費する私たちの暮らし方と密接につながっています。

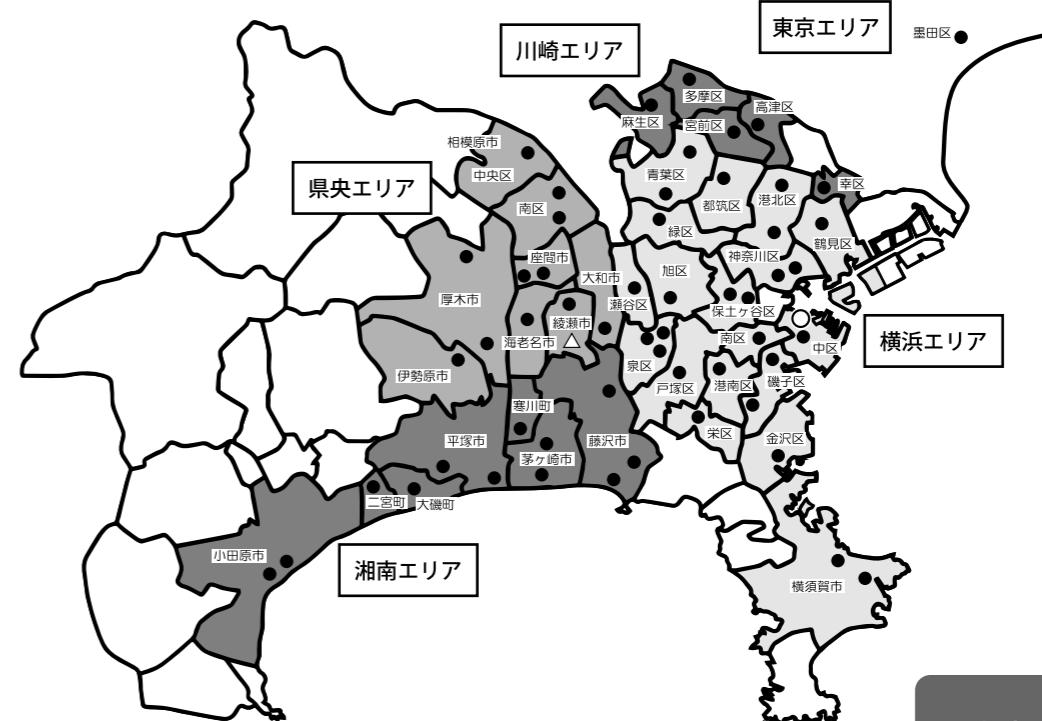
WE21ジャパン・グループは、物質的な豊かさや効率だけを追い求める価値観を見直し、

世界・社会の課題解決に向けて、一人ひとりが学び、考え方行動して

地域から世界を変えるために活動しています。



■フィリピン：インドネシアでの経験交流でコーヒー生産を学ぶメンバーたち



神奈川県を中心に
55店舗のチャリティショップ
「WE ショップ」を拠点に活動



■WE ショップあおば・青葉台店

WE21ジャパン・グループは、

39のNPOによって構成されています。

38の「WE21ジャパン地域NPO」は、

1~3店舗のチャリティショップ「WE ショップ」を運営しながら
それぞれNPOとして活動しています。

そして「WE21ジャパン」は、グループ全体の
活動を推進しながら、中間支援組織としての役割を担っています。

ごあいさつ 「お買い物をしたら 人にも地球にも優しかった。びっくり！」

これは、私がWE ショップに係わった15年前、WE ショップのリーフレットに載っていたキャッチコピーです。チャリティショップという言葉がまだ知られる前、この言葉は、WE ショップ、そしてWE21ジャパンの使命を簡潔にあらわした名文だと思い、今でも大切にしています。

寄付をする人、買い物をする人、ボランティア、スタッフなどを合わせると、昨年は、WE21ジャパン・グループ全体で述べ55万人を超えるました。世界に目を向ければ、支援を通じて31か国130団体の人びとつながっています。

しかし、世界各地では今も紛争が続き、多くの人が難民となり、残った人々も荒廃した土地で困難な生活を強いられています。日本でもまた、貧困格差の広がり、弱者に対する不寛容な社会が広がりつつあります。

WE21ジャパンは環境・貧困・人権などの社会的課題に取り組み、WE21ジャパン・グループに係わる大勢の人びとの共感を得ながら、「平和で公正な社会」を推進してまいります。

認定NPO法人 WE21ジャパン
理事長 海田 祐子

限りある資源を活かし、アジアを中心とする民際協力へ



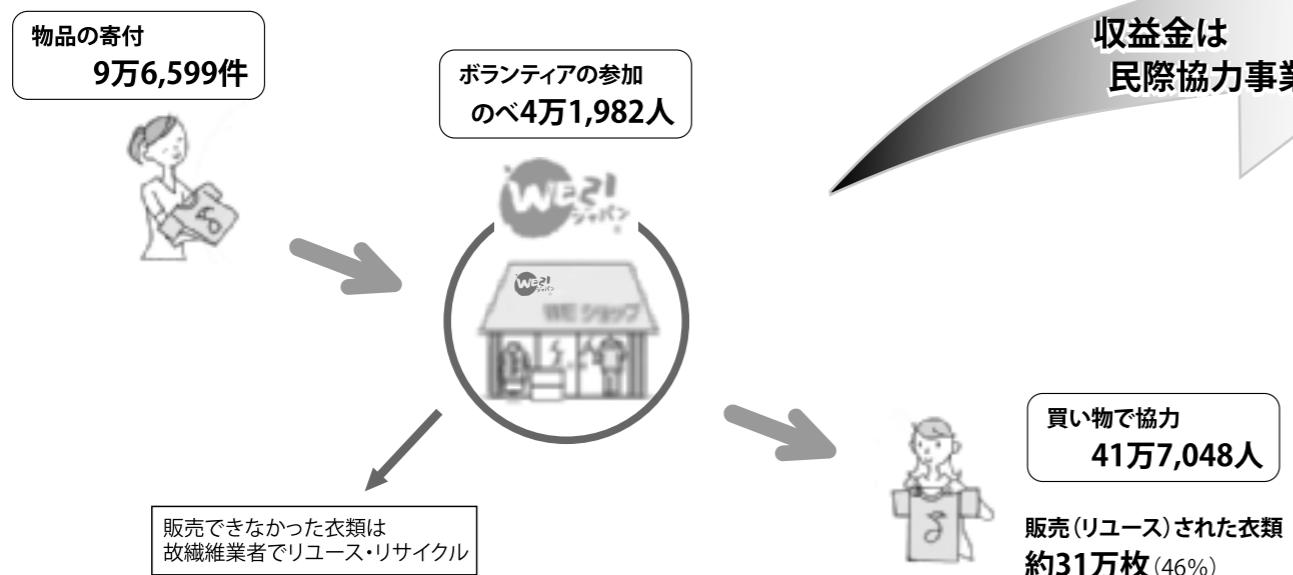
限りある資源の中で、私たちは大量生産・大量消費の生活を続けることはできません。チャリティショップ「WE SHOP」を拠点に、市民から衣類や生活雑貨などの寄付を受けリユース品やリメイク品、フェアトレード品を販売し、持続可能な暮らし方を提案しています。これらは2030年までの達成を目指すグローバル目標「持続可能な開発目標（SDGs）」の「目標12：つくる責任、つかう責任」の3Rやエシカル（倫理的な）消費の推進に該当しており、廃棄の削減と資源循環を一層広めることやフェアトレード品の推進が求められています。



WE SHOP事業や寄付金・募金などによる2017年度の民際協力は、WE21ジャパン・グループ全体で総額3,310万4,076円でした。支援先は39の各NPOで決定し、世界31か国・175の支援プロジェクトで活用されました。アジアを中心に人々の自立を支援し、地域と地域を結ぶ平和な市民社会づくりを目指しました。19か国から公正な価格で購入するフェアトレード・物産品は747万6,559円に上り生産者を支えました。

市民からの寄付品をボランティアで活かす市民事業

WE21ジャパン・グループでは、寄付された衣類などを直接海外へ送らず、神奈川県を中心とする「WE SHOP」や様々なイベントで販売しています。品物は地域の皆さんに購入していただき、その収益でアジアを中心に現地で必要とされる支援プロジェクトへ助成する活動を行っています。



寄付品販売総額 3億3,824万8,161円

※2017年度実績

「WE SHOP」は、のべ4万人のボランティアによって支えられ、合計55店舗が各地で活動しています。地域で資源の循環を進めるために、市民の皆さんから多くの賛同と協力をいただき、年間約10万件の物品寄付があり、年間41万人以上のお客さまのお買い物による総売上高は約3億3千万円にのぼります。販売によって約31万枚の衣類がリユースされ、販売できなかつた約88トンは、ファイバー（故繊維）として、提携する故繊維業者（ナカノ株式会社）へ搬入されます。ここでは原料に再生化するリサイクル、海外でリユース、工場などのウエスとして使用されるなど、最後まで活用されています。

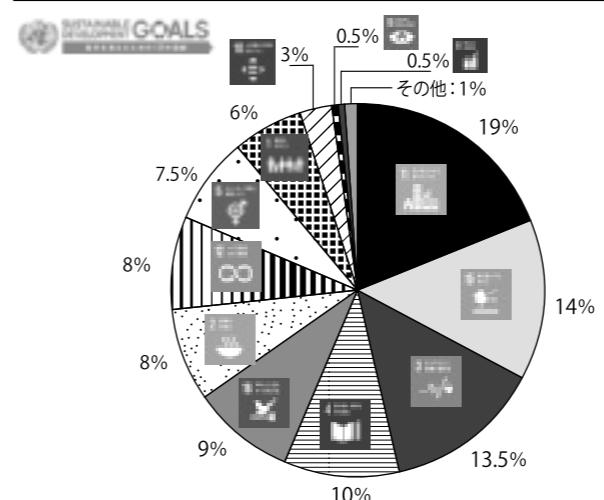
世界31か国、130団体、175プロジェクトへ支援

※2017年度実績



助成プロジェクト SDGs 分野割合（金額比）

SDGs：持続可能な開発目標



WE21ジャパン・グループの2017年度の民際協力活動を、SDGsの17の目標で分類しました。「目標11：まちづくり」、「目標15：陸の豊かさ」、「目標3：健康と福祉」が多い傾向となりました。「目標11：まちづくり」には、東日本大震災被災地支援が含まれます。

- 目標11：住み続けられるまちづくりを
- 目標15：陸の豊かさも守ろう
- 目標3：すべての人に健康と福祉を
- 目標4：質の高い教育をみんなに
- 目標16：平和と公正をすべての人に
- 目標8：働きがいも経済成長も
- その他

1 リユース・リサイクル環境事業



WE21 ジャパン・グループ 2017 年度

大切な資源を活かすリース・リサイクル、そしてリメイク

市民から寄付された衣類を中心に食器・バッグ・靴・着物・生活雑貨などを「WE ショップ」で販売し、品物をもう一度使うリユース・リサイクルによって資源の循環を推進しています。また、使用済み天ぷら油・携帯電話を回収し、リサイクルにつなげました。

WE21 ジャパン 地域 NPO

■チャリティショップ「WE ショップ」事業 ～人と資源の循環する場～

38のWE21ジャパン地域NPOで、55の「WE ショップ」を拠点にリユース・リサイクル環境事業を実施しました。市民から寄付された衣類や雑貨を販売することで「リユース」し、故繊維やガラス食器・陶磁器、携帯電話、天ぷら油を原料化する「リサイクル」を行い、資源循環を進めました。

2017年度は、年間9万6,599件の物品寄付をいただき、のべ4万1,982人のボランティア参加で、得られた収益を、アジアを中心とする民際協力に活用しました。

■リメイク活動 ～“布あそび”の魅力を広める～

寄付された古着や古布・着物から、小物やドレスをつくる「リメイク」を行いました。互いに学びあう地域NPOのリメイクチームが、WE21グループ全体のリメイク連絡会を形成しています。リメイク作品は、WE ショップやイベントで展示・販売しました。

リメイク講座を開催し、リメイク文化を市民に広めました。



うさぎ雛 (リメイク作品)

WE21 ジャパン

■ストックと配送の物流システム ～「WE21ジャパン・エコものセンター」と「キャリー便」～

寄付された季節外の衣類を保管し、販売されなかった衣類を循環する物流拠点「WE21ジャパン・エコものセンター」が、2018年5月、同じ綾瀬市内に移転しました。保管されている衣類や雑貨は約8,000箱。全国から届く寄付品の仕分け作業を、ワーキングチームが週に一度行いました。

物流は企業組合ワーコレ・キャリーに事業委託し、「キャリー便」が保管された衣類や雑貨、全国からの個人や企業・団体の寄付品などを配達し、エコものセンターと各地域のWE ショップとを結んでいます。

最終的に販売できなかった衣類は、ファイバー(故繊維)として、故繊維業者のナカノ株式会社を通して、さらにリユース・リサイクルされました。



2018年5月、同じ綾瀬市内に移転したエコものセンター（綾瀬市小園 717-16）

■WEフェスタ

WE21ジャパン・グループ全体のチャリティイベントである「WEフェスタ」。チャリティショップとSDGsをテーマとした展示・販売を、横浜産貿ホールを会場に行いました。

この日の売上290万8,800円のうち10%を、「世界子どもの日」に合わせ子ども支援を行う3つの団体へ寄付しました。



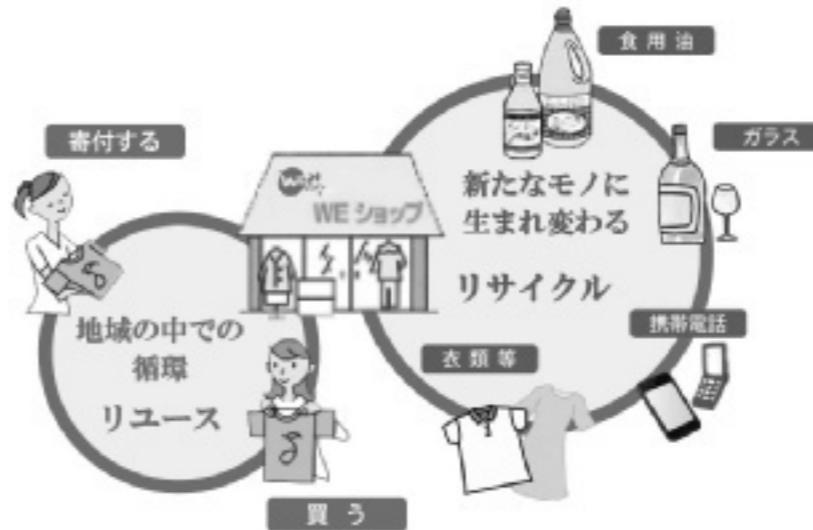
売上一部を子ども支援事業へ寄付 (WE フェスタ)

■アートやテキスタイル素材として



ポコスの「ビッグかぼちゃ」(横浜美術大学)

販売に適さず販売されなかった衣類が、アートやテキスタイル素材として活かされました。美術大学の学生によるアート作品の素材として活用され、故繊維の可能性が広がりました。



■天ぷら油のリサイクル「WE油田」

20店舗のWE ショップと公共施設の計21か所で4,339トンの天ぷら油を回収し、車の燃料(植物性軽油代替燃料=VDF)、石けん、塗料、肥料などへリサイクルされたほか、自然再生エネルギーの電力として生まれ変わりました。※CO₂削減量:11.28トン(協力:株式会社ユーズ「TOKYO油田2017」)



■ガラス食器・陶磁器のリサイクル

WE ショップやイベントで販売され、販売できなかったガラス食器・陶磁器のうち、軟質ガラス0.87トンは、BINへの再生や断熱材となるグラスファイバーなどへ、有色・硬質ガラス・陶磁器4.54トンは道路の路盤材などへと再資源化されました。(協力:有限会社飯室商店、木村管工株式会社)

■携帯電話のリサイクル「めぐりケータイ」

3地域NPOとWE21ジャパンで92台の携帯電話を回収しリサイクルを進めました。携帯電話に含まれる貴金属(金・銀・銅など)は、再生され新たな金属として加工されます。貴金属の売却収益は、フィリピンの鉱山跡地の環境回復事業に活用されます。レアメタル(希少金属)についてはエシカルケータイキャンペーンを通じてエシカルな金属調達について提言活動を行っています。

(協力:株式会社三光金属)



■衣類のリユース・リサイクル

WE ショップや各種イベントでの販売により、リユースされた衣類は46%で79トンにのぼりました。販売できなかった51%は「キャリー便」で「WE21ジャパン・エコものセンター」へ集約され、故繊維業者へ搬出されました。その後反毛フェルトやエコ手袋などにリサイクルされたり、さらに海外へ古着として輸出され、リユース・リサイクルして活用されました。(協力:ナカノ株式会社)

2017年度 WE21ジャパン地域NPO別事業実績一覧

(2017年4月～2018年3月)

地域NPO名 (ショップ数)	事業高 (円)	物品寄付 (件)	お客さま (人)	ボランティア (延人数)	地域NPO名 (ショップ数)	事業高 (円)	物品寄付 (件)	お客さま (人)	ボランティア (延人数)		
厚木	2	23,779,563	4,956	28,038	1,670	ちがさき	2	10,949,615	3,911	15,030	740
相模原	3	20,382,643	4,385	20,313	2,265	おだわら	2	9,720,816	3,108	14,452	601
海老名	1	7,429,623	2,370	7,382	1,344	寒川	1	7,947,296	2,376	12,569	1,122
大和	1	5,041,855	1,301	6,706	1,279	青葉	2	18,277,003	4,984	18,050	1,486
ざま	2	7,751,203	2,450	11,707	930	かながわ	2	13,176,220	3,520	16,045	1,906
伊勢原	1	5,552,172	1,955	9,242	856	ほどがや	2	13,471,398	3,275	15,815	975
あやせ	1	2,739,075	679	4,962	256	旭	1	7,717,298	2,254	10,523	1,343
いずみ	3	16,596,977	4,642	18,919	2,136	みどり	1	7,184,109	2,161	9,585	1,149
いそご	2	9,033,495	2,569	11,155	779	つるみ	1	5,755,634	1,956	7,765	658
港南	1	8,427,480	1,861	7,127	686	都筑	1	5,639,999	1,870	7,178	716
かなざわ	1	7,937,970	1,795	9,909	380	こうほく	2	16,776,742	5,094	19,805	1,910
とつか	1	5,388,660	955	4,877	1,189	せや	1	3,790,060	1,273	5,331	1,303
さかえ	1	3,536,361	1,259	5,445	1,169	たかつ	1	5,909,858	2,373	7,974	1,009
みなみ	1	6,335,832	1,611	7,288	875	さいわい	1	5,406,994	1,597	7,953	679
なか	1	5,490,409	1,292	7,314	1,337	たま	1	4,205,712	1,295	5,588	1,047
よこすか	2	10,837,152	2,653	13,798	1,213	みやまえ	1	4,683,560	1,723	5,679	424
ひらつか	2	12,234,517	4,636	17,098	2,005	あさお	1	7,753,325	2,688	10,415	1,477
おおいそ	1	4,527,700	631	2,708	256	すみだ	1	3,339,860	521	3,786	294
にのみや	1	4,432,177	1,331	5,664	351	WEフェスタ	2	2,908,800	1,551*	776	130
藤沢	3	16,178,998	5,738	23,077	2,037	合 計	55	338,248,161	96,599	417,048	41,982

*エコものセンターへの寄付件数

2 民際協力事業



WE21 ジャパン・グループ 2017 年度

～アジアを中心に世界の人びとの自立を支え、つながりを深める～

アジアを中心に世界の人びと、そして国内では東日本大震災被災者や貧困を抱える人びとの生活向上と自立を支える活動を行いました。交流を通して市民どうしの顔の見える関係を深めることで、世界の平和づくりを目指しています。

WE21 ジャパン 地域 NPO

■NGO/NPOへの助成

「WEショップ」で展開するリユース・リサイクル環境事業や各種イベントの収益、寄付金・募金によって、世界31か国の人びとの自立を支え、つながりを深める民際協力事業を行ないました。海外、国内あわせて、130団体175プロジェクトへ総額33,104,076円の支援となりました。

●アジアを中心とした世界の人びとの支援

フィリピン、インド等のアジアを中心とした地域から、パレスチナ自治区、イラク等の中東地域、ブルキナファソ等のアフリカ地域と幅広い地域で民際協力活動を行いました。支援先も、地域開発、人道支援、緊急支援と多岐にわたりました。



ロヒンギャ難民緊急支援
(写真／シマ・ネット)



ガザ地区の子どもの栄養改善支援
(写真／日本国際ボランティアセンター)

●日本国内での支援

増加する日本国内での貧困や自立への支援として、36の地域NPOが東日本大震災復興支援や九州北部豪雨被害等への緊急支援、国内の貧困層やDV被害者への支援を行いました。

■物品による支援

WEショップへの物品寄付を活用した、国内外の団体への衣類・文房具の寄付や、食品の寄付を呼びかける「フードドライブ」などが行われました。

■フェアトレードで暮らしを支える

アジア・アフリカ・中南米から公正な価格で取引されたフェアトレード品を仕入れ、「WEショップ」やイベントなどで販売し、人びとの暮らしを支えました。



フェアトレード・フェアを開催
(WE21 ジャパン・ほどがや)

■現地を訪れる視察・交流ツアー

支援先を訪問して人びとと交流を深めながら、プロジェクトの視察やボランティア研修を行いました。

【フィリピン】

《モニタリングツアー》

◆ベンゲット・グリーン・アクション(BGA)モニタリングツアー
(参加地域:さいわい・寒川・ほどがや／2017年10月)

◆コーヒーの森づくり事業モニタリングツアー
(参加地域:いせはら・みなみ・よこすか／2018年1月)

《現地ボランティア研修》

◆貧しい母子のための診療所 WISHHOUSE
(参加地域:青葉／2018年2月)

【インド】

《モニタリングツアー》

◆DRCSCの既存プロジェクト間の自助グループをリンクする「協賛市場」活動
(参加地域:ひらつか・みなみ・よこすか／2018年2月)

【カンボジア】

《スタディツアー》

◆民際支援地訪問カンボジアツアー
スバイリエン州「タナオコムーンにおける生計向上支援によるエンパワーメント事業」(参加地域:こうほく／2017年12月)



カンボジアツアー
(WE21 ジャパンこうほく)

《モニタリングツアー》

◆カンボジア農村における地域資源を活用した生業改善支援プロジェクト(参加地域:旭・いずみ・いそご・相模原／2018年1月)

WE21 ジャパン

■フィリピン・ベンゲット州での民際協力事業

フィリピン・ベンゲット州では、森林伐採や焼き畑農業などにより、環境・暮らし・森林の破壊が起きています。WE21 ジャパンは、現地の先住民族の人びとの暮らしをまもり、自立を支援するための支援事業を現地のパートナーNGOと共に進めました。

●コーヒーの森づくり事業

2017年度は、JICA横浜からの受託事業「コーヒーの森づくり事業」の2年目をトゥブライ郡で進めました。9月～10月にインドネシアの生産者組織と経験交流研修を実施し、生産者たちは地域のネットワークを活かしたコーヒー生産を学び、3つの生産者組織が協力してコーヒーを生産する構想を立案しました。



インドネシアの生産者たちとの
経験交流の様子

ジンジャーティと合わせてコーヒーを生産している住民組織「ダイヨコン」の訪問や、マーケティングに成功している他地域の生産者組織の訪問も行い、コーヒーの品質を管理するための組織づくりを着実に進めています。

●鉱山開発地域の環境回復事業 —ベンゲット・グリーン・アクション (BGA)



鉱山開発の露天掘りによ
りできた、溜池のまわり
で植生調査を実施

キブンガン郡ルボ村で進めてきた、鉱山開発跡地の植林と生活向上のための有機農業は、第2フェーズの活動を2016年度で終了し、2017年度より10のWE21地域NPOによる協働事業に移行しました。鉱山跡地という荒廃地の森林を回復するため、2016年度に実施した足尾銅山での植林研修を活かして、将来の本格的な植林にむけた実証実験を開始しました。日本の植生の専門家がモニタリングに同行し、実験地の視察とアドバイスが行われました。

●ジンジャーティ・フェアトレード(輸入と販売)

ベンゲット州の人びとの健康を支えるジンジャーティを、パートナー団体と連携し、フェアトレード品として輸入販売をしています。WEショップ、出展イベント、団体ウェブサイトを通じて販売し、生産地の先住民族の人びとの暮らしや抱える課題を伝えました。2017年度は前年度の生産地訪問の報告会を7地域NPOで実施しました。生産者組織からの手紙や写真による情報共有を充実させ、生産者との顔の見える関係づくりが更に進みました。



住民組織「ウババス」でのジンジャーティ生産の様子

■NGOネットワークとの連携

行政・企業に倫理的な鉱山開発を求める提言活動を「エシカルケータイキャンペーン実行委員会」への参加を通して行い、フィリピンでの鉱山問題の課題を共有しました。また新たにエシカル消費、SDGsをテーマに活動するNGOネットワークに参加し、活動に活かしました。



公開質問状回答結果
公表セミナー
(エシカルケータイ
キャンペーン)

*** 参加したNGOネットワーク ***

- ◆エシカルケータイキャンペーン実行委員会
- ◆日比NGOネットワーク
- ◆消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク
- ◆SDGs市民社会ネットワーク

*民際協力事業費:323万8,600円

*フェアトレード・物産品仕入額:95万8,084円

WE21 ジャパン地域 NPO 2017 年度民際協力事業実績

NGO/NPOへの助成支援一覧

支援先	【実施団体】	●支援プロジェクト	地域NPO	金額
アフガニスタン【カレーズの会】	●医療と教育分野でのアフガニスタン復興支援(カンダハール) ちがさき	145,115円		
【ベシャワール会】	●用水路建設・医療活動 たま	50,000円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●アフガニスタン・ピースクワッシュ(平和教育と地域住民による平和の取り組み) 伊勢原、港南、相模原、ほどがや	352,491円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●アフガニスタン・ピースクワッシュ(平和教育と地域住民による平和の取り組み)・アフガニスタン地域教育/職業アクション!(地方部における若者と成人の識字教室および普通教育促進事業) あだわら、さかえ	213,535円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●アフガニスタン地城教育/識字アクション!(地方部における若者と成人の識字教室および普通教育促進事業) いそご、港南、みなみ、よこすか	317,405円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●教育支援(アジア・友だち・みらい貯金による支援) いそご、相模原、さま	151,530円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●教科書指導書の活用と授業運営に関する教育研修 あだわら、相模原、さま	368,476円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●性別子どものための地域保健改善支援(伝産施設・地域保健課・母親教室支援) かなざわ	50,000円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●イランの子どもたちおよびコミュニティを対象にした平和を築く環境づくり よこすか	100,000円		
【日本国際医療支援ネットワーク(JIM-NET)】	●IM-NETハウス運営 青葉	200,000円		
【日本国際医療支援ネットワーク(JIM-NET)】	●「イランの子どもたちの医療支援 よこすか	100,000円		
【日本イラク医療支援ネットワーク】	●ヨリ募金(イラク・福島の子どもたちのリリアの難民を支援するための募金) 青葉、旭、いそご、海老名、おひさま、かわら、港南、こまくさ、さかえ、相模原、さま、みやこ、たま、かわら、ちがさき、都筑、つみどり、かわら、ひらつか、みやま、みやま、よこすか	2,649,758円		
【開発調査コミュニケーション・サービスセンター(DRCSC)】	●DRCSCの既存プロジェクト間の自助グループアリーナ(協賛市場活動) さいしょ、みすみ、ほせな、みやこ、よこすか	1,061,100円		
【CAE(The Center for Actions towards Equality)】	●アフリエイソン・コローニー・オーミューンにおける生計向上支援による貧困層のエンパワーメント事業 旭、いそご、いそご、こまくさ、たま、かわら、ちがさき	1,250,000円		
【Women Empowerment Project】	●ゆかで幸福なコミュニティ 大和	100,000円		
【幼い難民を考える会(CYR)】	●村の幼稚園】地域での継続運営 厚木、都筑	650,000円		
【幼い難民を考える会(CYR)】	●村での保育事業(タオオツつの村の幼稚園)の補助給食及び ガンドルーム3つの村の幼稚園)のトイレ設置及び補助給食費) さま、大和	294,200円		
【幼い難民を考える会(CYR)】	●みんなでヨシッカヘン・ボジアの子どもたちへ人形とボールを～ あやせ、都筑、ほどがや	36,500円		
【幼い難民を考える会(CYR)】	●教育事業(マラ保育所支援、保育者研修と教材作成、給食募金) たま	117,230円		
【シェア=国際保健協力市民の会】	●カンボジアにおける子どもの栄養改善100日アプローチプロジェクト 厚木、さいわい	332,077円		
【シェア=国際保健協力市民の会】	●ハイアート・郡保健行政における子どもの栄養改善活動及びプロジェクト ひらつか	115,00円		
【地域女性ワーキング・グループ(Local Women Working Group(LWEG)]】	●地域性コミュニティと女性エンパワーメント・プロジェクト ほどがや	100,000円		
【地域女性ワーキング・グループ(Local Women Working Group(LWEG)]】	●ゆかで幸福なコミュニティーの構築 いそみ	200,000円		
【地球の木】	●カンボジアプログラム つるみ	50,000円		
【ボンロック・バイトーン(緑の芽)有機農園学校】	●4州からで幸福なコミュニティー(S3)の構築ミニプロジェクト こうぼく、ほどがや	250,000円		
【国際こども権利センター(C-Rights)】	●ボンボニア・スパリエソン・コローニー群団オコムユニオンにおける ペトナへの出稼ぎによる子ども人身売買及び児童労働防衛事業 港南、大和	200,000円		
【国際こども権利センター(C-Rights)】	●スパリエソン・コローニー群団オコムユニオンにおける子どもの権利促進プロジェクト ちがさき	70,000円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●カンボジア農村における地盤資源を活用した生業改善支援プロジェクト 旭、いそご、いそご、相模原	500,000円		
【アラリア会】	●奨学金支給活動 いそご	10,000円		
【世界食料デー・湘南大会実行委員会】	●日本国際飢餓対策機構による自立支援プロジェクト 神奈川県共同募金会	25,108円		
【赤い羽根共同募金】	●赤い羽根共同募金 おだわら	1,100円		

NGO/NPOへの助成支援一覧

支援先	【実施団体】	●支援プロジェクト	地域NPO	金額
タイ	【シェア=国際保健協力市民の会】	●タイラオスマ境地における川の水防護及びケアプロジェクト ちがさき	260,000円	
【タンザニア】	●AFRA麻痺を支援する女たちの会(WAAF)	70,000円		
ネパール	【ペラルネーヨ】	こうぼく	10,000円	
日本	【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●カンチンジャンガ紅茶農園の子ども達への奨学金支援 厚木	800,000円	
バレスチナ	【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●ガザ地区の子どもの栄養改善支援 旭、いそご、海老名、さかえ、相模原、せや、みなみ	801,726円	
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●アフガニスタン・ピースクワッシュ(平和教育と地域住民による平和の取り組み) 伊勢原、港南、相模原、ほどがや	352,491円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●アフガニスタン・ピースクワッシュ(平和教育と地域住民による平和の取り組み)・アフガニスタン地域教育/職業アクション!(地方部における若者と成人の識字教室および普通教育促進事業) あだわら、さかえ	213,535円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●アフガニスタン地城教育/識字アクション!(地方部における若者と成人の識字教室および普通教育促進事業) いそご、港南、みなみ、よこすか	317,405円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●教育支援(アジア・友だち・みらい貯金による支援) いそご、相模原、さま	151,530円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●教科書指導書の活用と授業運営に関する教育研修 あだわら、相模原、さま	368,476円		
イラク	【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●性別子どものための地域保健改善支援(伝産施設・地域保健課・母親教室支援) かなざわ	50,000円	
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●イランの子どもたちおよびコミュニティを対象にした平和を築く環境づくり よこすか	100,000円		
【日本イラク医療支援ネットワーク(JIM-NET)】	●IM-NETハウス運営 青葉	200,000円		
【日本イラク医療支援ネットワーク(JIM-NET)】	●「イランの子どもたちの医療支援 よこすか	100,000円		
【イラク・シリヤ・日本】	【日本イラク医療支援ネットワーク】	100,000円		
インド	【開発調査コミュニケーション・サービスセンター(DRCSC)】	●DRCSCの既存プロジェクト間の自助グループアリーナ(協賛市場活動) さいしょ、みすみ、ほせな、みやこ、よこすか	2,649,758円	
カンボジア	【CAE(The Center for Actions towards Equality)】	●アフリエイソン・コローニー・オーミューンにおける生計向上支援による貧困層のエンパワーメント事業 旭、いそご、いそご、こまくさ、たま、かわら、ちがさき	1,250,000円	
【Women Empowerment Project】	●ゆかで幸福なコミュニティ 大和	100,000円		
【幼い難民を考える会(CYR)】	●村の幼稚園】地域での継続運営 厚木、都筑	650,000円		
【幼い難民を考える会(CYR)】	●村での保育事業(タオオツつの村の幼稚園)の補助給食及び ガンドルーム3つの村の幼稚園)のトイレ設置及び補助給食費) さま、大和	294,200円		
【幼い難民を考える会(CYR)】	●みんなでヨシッカヘン・ボジアの子どもたちへ人形とボールを～ あやせ、都筑、ほどがや	36,500円		
【幼い難民を考える会(CYR)】	●教育事業(マラ保育所支援、保育者研修と教材作成、給食募金) たま	117,230円		
【シェア=国際保健協力市民の会】	●カンボジアにおける子どもの栄養改善100日アプローチプロジェクト 厚木、さいわい	332,077円		
【シェア=国際保健協力市民の会】	●ハイアート・郡保健行政における子どもの栄養改善活動及びプロジェクト ひらつか	115,00円		
【地域女性ワーキング・グループ(Local Women Working Group(LWEG)]】	●地域性コミュニティと女性エンパワーメント・プロジェクト ほどがや	100,000円		
【CAE】	●開発調査コミュニケーション・サービスセンター(DRCSC)の既存プロジェクト間の自助グループアリーナ(協賛市場活動) さいしょ、みすみ、ほせな、みやこ、よこすか	1,061,100円		
【WEEG】	●ボンロック・バイトーン(緑の芽)有機農園学校	250,000円		
【ボンロック・バイトーン(緑の芽)有機農園学校】	●4州からで幸福なコミュニティー(S3)の構築ミニプロジェクト こうぼく、ほどがや	250,000円		
【国際こども権利センター(C-Rights)】	●ボンボニア・スパリエソン・コローニー群団オコムユニオンにおける ペトナへの出稼ぎによる子ども人身売買及び児童労働防衛事業 港南、大和	200,000円		
【国際こども権利センター(C-Rights)】	●スパリエソン・コローニー群団オコムユニオンにおける子どもの権利促進プロジェクト ちがさき	70,000円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●カンボジア農村における地盤資源を活用した生業改善支援プロジェクト 旭、いそご、相模原	500,000円		
【アラリア会】	●奨学金支給活動 いそご	10,000円		
【世界食料デー・湘南大会実行委員会】	●日本国際飢餓対策機構による自立支援プロジェクト 神奈川県共同募金会	25,108円		
【赤い羽根共同募金】	●赤い羽根共同募金 おだわら	1,100円		

WE21 ジャパン地域 NPO 2017 年度民際協力事業実績

NGO/NPOへの助成支援一覧(続き)

支援先	【実施団体】	●支援プロジェクト	地域NPO	金額
モンゴル	【草原の子ども】	●母子家庭自立及び孤児の子どもたちの支援 かながわ	300,000円	
日本	【3.10追悼のタベ実行委員会】	こうぼく	10,000円	
神奈川県	【寒川町社会福祉協議会】	寒川町の福祉を考える 寒川	3,000円	
横浜市	【3.10追悼のタベ】	さかえ	22,200円	
福島県	【3.11甲状腺がん子ども基金】	さかえ	30,000円	
福島市	●活動全般への支援	さかえ	347,658円	
バレスチナ	【ガザ地区の子ども】	さかえ	347,658円	
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●ガザ地区の子どもの栄養改善支援 旭、いそご、海老名、さかえ、相模原、せや、みなみ	801,726円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●アフガニスタン・ピースクワッシュ(平和教育と地域住民による平和の取り組み) 伊勢原、港南、相模原、ほどがや	352,491円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●アフガニスタン・ピースクワッシュ(平和教育と地域住民による平和の取り組み)・アフガニスタン地域教育/職業アクション!(地方部における若者と成人の識字教室および普通教育促進事業) あだわら、さかえ	213,535円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●アフガニスタン・ピースクワッシュ(平和教育と地域住民による平和の取り組み)・アフガニスタン地域教育/職業アクション!(地方部における若者と成人の識字教室および普通教育促進事業) いそご、港南、みなみ、よこすか	317,405円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●教育支援(アジア・友だち・みらい貯金による支援) いそご、相模原、さま	151,530円		
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●教科書指導書の活用と授業運営に関する教育研修 あだわら、相模原、さま	368,476円		
イラク	【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●性別子どものための地域保健改善支援(伝産施設・地域保健課・母親教室支援) かなざわ	50,000円	
【日本国際ボランティアセンター(JVC)】	●イランの子どもたちおよびコミュニティを対象にした平和を築く環境づくり よこすか	100,000円		
【日本イラク医療支援ネットワーク】	●IM-NETハウス運営 青葉	200,000円		
【日本イラク医療支援ネットワーク】	●「イランの子どもたちの医療支援 よこすか	100,000円		
【フィリピン】	【WEEKO】	100,000円		
【フィリピン】	【JUNIOR】	100,000円		
【フィリピン】	【NEKKO】	100,000円		
【フィリピン】	【WISH HOUSE】	100,000円		
【フィリピン】				

3 政策提言活動

WE21 ジャパン 2017 年度

社会のしくみを変える市民の力を高める

地域から平和な社会づくりを進めるために、講演会や講座を実施しました。また市民の人権を守るために署名や声明に賛同し、市民の声を政府など関係機関に届けました。

WE21 ジャパン

■地域からの平和な社会づくり

- 緊急報告会「ロヒンギャで何が起きているのか?~30kmの飢餓街道」(10月)
- 報告会「武力によらない平和構築にむけて~南スーダンの事例から安保法制を見直す」(12月)
- 学習会「現実化する憲法改正に向き合う」(2018年3月)

■日本チャリティーショップ・ネットワーク (JCSN)

- チャリティーショップ・フォーラム(2018年1月)、税制学習会(2018年3月)

■持続可能な環境づくり

- WEショップでの衣類リユースによるCO2排出量削減の数値化とポスター配布(12月)

■SDGs

- 「SDGs市民社会ネットワーク」に参加(4月)

■市民の声を伝える—声明・賛同・署名活動

- 平和・原発について
- 「3・10東日本大震災かながわ追悼のタペ」賛同(2018年3月)
- NGO非戦ネット
- 南スーダン派遣自衛隊の撤退を受けての声明(4月)
- 「共滅の危機を平和と共生の未来に変えるために」声明(8月)
- ODAプロサンナ事業について
- モザンビーク小農異議申し立てに関するJICA理事長宛要請文への賛同(7月)
- JVC渡辺直子さんのTICAD参加(モザンビーク入国)拒否問題に関する声明への賛同(8月)
- JVC渡辺直子さんへのモザンビークビザ不発給に対する署名活動(8月～継続)
- その他
- 共同声明「市民社会を抑圧する『共謀罪』法案に反対」賛同(5月)
- 「神奈川県局設置条例の一部を改正する条例案」についての陳情(12月)
- 「憲法を生かす3000万人全国統一署名」への参加(2018年2月)
- 「パワーシフト・キャンペーン」賛同(2018年3月)

4 ともに学ぶ—共育 (ともいく) 活動

世界の課題、日本の課題を学びあう場づくり

世界や社会の課題に触れる多様なイベントを実施し、市民が互いに学びあい育ちあう機会をつくりました。

WE21 ジャパン 地域 NPO

■支援報告会、講座、写真展など

各地域NPOが民際協力を行うアジア・アフリカ・東日本での活動を知る報告会や、講座・映画上映会などを開催し、世界の現状や課題を学ぶ機会をつくりました。



核に翻弄された国々に暮らす人びとの、声を映像でつづった映画『わたしの、終わらない旅』上映会開催 (WE21 ジャパンにのみや)

■貧困なくそうキャンペーン

10月16日の「世界食料デー」、17日の「貧困撲滅のための国際デー」に合わせて、「貧困なくそうキャンペーン」を開催。37の地域NPOがSDGsの各目標と連携して講座開催、写真・パネル展示、クイズや「WEショップ」での売上金の寄付など、さまざまな企画を実施しました。

■貯金箱～アジア・友だち・みらい貯金

不公平な世界で生きる、もう一人の友だちに思いをはせる貯金箱を会員や「WEショップ」で配布しました。アフガニスタン教育支援やパレスチナ支援などへ活かされました。

5 広報活動

WE21 ジャパン 2017 年度

WE21 ジャパン・グループの活動を広くアピールする

WE21 ジャパン・グループの多岐にわたる活動を広く市民に伝え、WE ショップ・イベント・講座など様々な活動や学びの場への参加を促し、考え・行動する人を地域に広げました。

WE21 ジャパン

広報ツール

- WE21ジャパンリーフレット(日・英・韓)、各活動紹介リーフレット
- 広報紙『めぐらめぐる』(1回/年)
テーマ:「民際協力とは?」
- 2016年度 年次報告書
- WE21グループMAP
- ウェブサイト、SNS (facebook, twitter)
- メールマガジン「WE通信」(8回/年)
- WE21グループ情報共有「みんなのかわら版」(12回/年)



他団体主催のイベント参加・活動紹介

- 立命館アジア太平洋大学フィールドスタディ(9月)
- 世界食料デー月間ネットワークと横浜市共催「世界食料デー月間シンポジウム」(10月)
- よこはま国際フェスタ2017(ブース出展) (10月)
- よこはま国際フォーラム(講座開催) (2018年2月)
- シティネット横浜プロジェクトオフィス主催「Japan Forum」(活動紹介) (2018年2月)

記事記載

- 韓国MBC放送局「日本の社会的企業」(8月)※映像取材
- 神奈川新聞 訳す『貧困助ける土壤を』(10月)
- 参加型システム研究所「参加型システム」
 - ・2017年11月号:チャリティーショップ「WEショップ」が取組む地域防災
 - ・2017年9月号:国連特別報告者のマンデート(委任と権限)に見る平和と共生に必要なもの
 - ・2017年7月号:自律した地球市民を拓げる活動と社会の創造をめざして
- タウンニュース中・西区版:10月26日版(WEフェスタ紹介)
※広告掲載
- 朝日新聞『神奈川マリオン』掲載:11月8日朝刊(WEフェスタ紹介)

WE21 ジャパン・グループ 2017 年度

WE21 ジャパン

■SDGsの推進

SDGs(持続可能な開発目標)をWE21ジャパンの活動に引き付けて捉え、講演会や情報の発信を行いました。



“誰一人取り残さない”SDGsが目指す17の目標を立体展示 (WE フェスタ)

- 開発教育教材の開発とワークショップ実施(4月～)
教材:「カップめんから世界が見える」「地球の水ものがたり」「今日はフェアトレードの日!?’

- WE21ジャパン・グループ基礎研修(6月・12月)、実務研修(6月・2018年1月)の実施

- WEショップ運営に関わるスタッフ・ボランティアによる交流「新春のつどい」(2018年2月)

- 貧困なくそうキャンペーンの広報協力(10月)

- 支援ハンドブック改訂のための意見交換会(11月)アンケートの実施(2018年2月)

ネットワーク活動・表彰・助成金

WE21 ジャパン 2017 年度

■日本チャリティーショップ・ネットワーク(JCSN)

- 理事が共同代表となり、正会員として参加

■NGO 非戦ネット

- 呼びかけ人、賛同団体として参加

■エシカルケータイキャンペーン

- 賛同団体として参加

■韓国・慶南広域自活センター(友好協定)

- 韓国・慶南広域自活センター来訪、活動視察、イベント参加(11月)



韓国・慶南広域自活センターが来訪し、WE フェスタに参加

支援者一覧

WE21 ジャパン 2017 年度

■物品寄付

- 個人 (935人・1,546件)

- 企業・団体 (18団体・76件)

アメリカン・エキスプレス・インターナショナル,Inc.
メンバーシップ保険デスク
ハルメク おみせ 神楽坂本店
ワールドファミリー基金
有限会社 コスマックインフォリンク
株式会社 宮本製作所
株式会社 C'z SHARELY CODE
特定非営利活動法人 アーユス仏教国際協力ネットワーク
プリンス・インターナショナル株式会社
株式会社 太陽商会

■寄付金

- 個人 (106人・115件)

- 企業・団体 (14団体・29件)

株式会社 フェブマック
株式会社SMACO技術研究所
株式会社大川印刷
横浜中華街パーキング協同組合
企業組合ワコロ・キャリー
神奈川ワーカーズ・コレクティブ連合会
株式会社ユーズ

■世界食料デー月間ネットワーク

- 賛同団体として参加



世界食料デー月間
シンポジウム

■その他

- 「研究フォーラム」実行委員会(参加型システム研究所主催)、フォーラムに参加
- 生活クラブ運動グループ市民事業サポートデスクに運営委員として参加
- 東日本大震災復興・支援ネットワーク神奈川に幹事として参加
- 公益財団かながわ生き活き市民基金に理事、評議員として参加

■表彰・助成金

- JICA草の根技術協力事業
支援型

決算報告、貸借対照表 年度予算

WE21 ジャパン 2017 年度

(単位:円)

科 目	2017年度決算額	2018年度予算額
I 経常収入	43,119,304	47,607,598
1 事業受託収入	28,006,552	27,607,958
2 会費収入	3,048,000	3,100,000
3 寄付金収入	2,349,481	1,360,000
4 補助金・助成金	300,000	5,700,700
5 自主事業収入	4,756,182	5,116,700
6 その他	243,589	750,000
7 JICA事業受託収益	3,709,000	3,972,240
8 JCSN事務局受託収益	706,500	
II 経常費用	42,949,388	45,290,162
1 事業費		
リユース・リサイクル環境事業費	20,535,524	22,445,870
民際協力事業費	3,607,543	4,085,356
JICA事業費	3,523,765	4,024,240
JCSN事務局	706,746	
共育・政策提言事業費	2,396,043	2,828,492
広報関連事業費	9,570,545	8,189,920
2 管理費	2,609,222	3,716,284
当期正味財産増減額	169,916	2,317,436
前期繰越正味財産額	10,706,577	10,876,493
次期繰越正味財産額	10,876,493	13,193,929

●2017年度収支決算書 2017年4月1日～2018年3月31日 ●2018年度収支予算書 2018年4月1日～2019年3月31日

貸借対照表

I 資産の部	資産合計	17,116,227	II 負債の部	負債合計	6,239,734
現金	311,635		未払費用	948,067	
普通預金	9,316,776		前受金	3,919,000	
未収収益	1,207,400		未払金	6,015	
貯蔵品	401,732		未払消費税	445,700	
フェアトレード品	67,500		預り金	46,452	
商品	4,040		納税充当金	74,500	
立替金	40,021		個人借入金	800,000	
前払費用	1,512,000		III 正味財産の部	正味財産合計	10,876,493
短期貸付金	300,000		前期繰越正味財産	10,706,577	
什器備品	3		当期正味財産増減額	169,916	
電話加入権	255,120		負債及び正味財産合計	17,116,227	
出資金	1,000,000				
保証金	2,700,000				

【補足説明】

I)「事業受託収入」は、WE21ジャパン地域NPOからの事業受託にかかる収入です。

2017年度監査報告書

(特非) WE21 ジャパンは、財産の移動、及び事業活動の収支状況を正しく示しているものと認めます。
また、事業活動に於いては、総会で決定された方針に基づいて活動していることを認めます。

監事 向田映子

大川哲郎

2018年3月31日現在

WE21 ジャパン理事・会員

(2018年3月31日現在)

理事長 藤井あや子 (認定NPO法人 WE21ジャパン藤沢 運営委員)

副理事長 門永さつき (認定NPO法人 WE21ジャパンこうほく 運営委員)

理事 五十嵐敦子 (特定非営利活動法人 WE21ジャパンみどり 代表)

長崎豊美 (企業組合ワコロ・キャリー 理事)

贊川恭子 (認定NPO法人 WE21ジャパン・ほどがや 理事)

浜田順子 (特定非営利活動法人 WE21ジャパン伊勢原 代表)

牧島裕子 (特定非営利活動法人 WE21ジャパン寒川 運営委員)

三池良子 (認定NPO法人 WE21ジャパン相模原 代表)

森田夕紀 (認定NPO法人 WE21ジャパン 事務局長)

監事 大川哲郎 (株式会社大川印刷 代表取締役)

向田映子 (女性・市民コミュニティバンク 代表理事)

*理事改選に伴い2018年6月より理事・監事は一部交代しました。

理事長には海田祐子が就任しました。

■職員 常勤スタッフ/3名 非常勤スタッフ/3名

■会員 個人会員/94名・団体会員/50団体

・正会員 個人61名、団体43団体

・賛助会員 個人33名、団体7団体

■寄付者 (個人・企業・団体) 物品 1,622件

寄付金 144件

■会員として参加・加盟している団体

日本チャリティーショップ・ネットワーク 正会員

(特活) 国際協力NGOセンター 正会員

(特活) 横浜NGO連絡会 正会員、理事

(特活) 日本国際ボランティアセンター 正会員

(特活) アジア太平洋資料センター 賛助会員

(特活) 草の根援助運動 正会員

(特活) 参加型システム研究所 正会員、理事

(特活) シーズ・市民運動を支える制度をつくる会 正会員

(特活) 開発教育協会 正会員

(特活) 日比NGOネットワーク ネットワーク会員

(特活) アクションポート横浜 正会員

(財) かながわ国際交流財團 正会員

かながわ憲法フォーラム 会員

ソウル宣言の会 賛助会員

(特活) 神奈川災害ボランティアネットワーク

消費から持続可能な社会をつくる市民ネットワーク

(一社) SDGs市民社会ネットワーク

日本チャリティーショップ・ネットワーク

慶南広域自活センター

特定非営利活動法人 国際協力NGOセンター

(NGOサポート募金)

gooddo株式会社 (クリック募金)

公益財団法人パブリックリソース財団 (Give One)

ほか



■ ビジョン

私たちは、地球に住み暮らすあらゆる人々が、生きるために必要な条件や権利が公正なルールによって保障され、自律した地球市民として行動できる社会の創造をめざします。

■ ミッション

私たちは、地球規模で起きている資源の奪い合いや環境破壊・貧困をなくし、環境や人権について考え・行動する市民を地域に拡げます。
そして次世代へ希望ある市民社会をつなぐために、一人ひとりが身近にできる事から実践します。

2017年度 年次報告書 2018年7月30日発行

発行人：認定NPO法人 WE21ジャパン 理事長 海田祐子

印刷：株式会社野毛印刷社

発行所：認定NPO法人 WE21ジャパン

〒231-0023 横浜市中区山下町70 土居ビル6階

TEL:045-264-9390 FAX:045-264-9391

E-mail:info@we21japan.org URL <http://www.we21japan.org>



これは、JANICの「アカウンタビリティ・セルフチェック2012」マークです。
JANICのアカウンタビリティ基準の4分野（組織運営・事業実施・会計・
情報公開）について当団体が適切に自己審査したことを示しています。